

島原城

令和六年築城四百年



Blue Impulse 九州念願の飛行



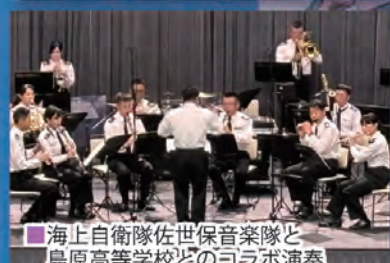
ブルーインパルスによるサイン会



パイロットスーツを着て撮影会



青空に映えるブルーインパルス



海上自衛隊佐世保音楽隊と島原高等学校とのコラボ演奏



復興アリーナにて装備品展示

自衛隊長崎地方協力本部は、陸海空共同でイベントを行い、長崎県内外の多くの方々から自衛隊の役割や活動、そして魅力と理解の促進を図り、自衛官の志願者増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていきます。(自衛隊長崎地方協力本部 島原地域事務所)

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、島原市の要請により令和6年10月19日(土)から10月20日(日)の間、島原城築城400年記念事業イベントを支援した。10月19日(土)は、悪天候によりブルーインパルス飛行が中止されたものの、イベント会場の島原城及び島原復興アリーナでは、島原地域事務所による募集広報ブース及びブルーインパルス広報を実施した。また、島原城では同クルーのご厚意により、急遽、サイン会が実施され多くのファンが喜んでいった。

10月20日(日)は、来場者の願いが叶い心配された天候も晴天に恵まれ、島原市周辺は県内外からの来場者で溢れた。航空自衛隊第4航空団(司令 渡部琢也空将補 第11飛行隊「ブルーインパルス」)6機による飛行が実施され、観衆を魅了した。イベント会場のみならず、約12万人が島原市内の一望できる場所から歓喜と喜びの声を上げた。このブルーインパルス飛行を目の当たりにした多くの来場者は、「島原市内にブルーインパルスが飛ぶなんて感激!」「初めて見た!」「かっこいい!」「ありがとう!」などの歓声で溢れブルーインパルスファンや自衛隊に興味をもった方々から「今後の自衛隊イベントを紹介してほしい」との声もあった。また、20日(日)に行われたブルーインパルスクルーによるサイン会では長蛇の列が途切れることなくファンで会場を埋め尽くした。

一方、島原復興アリーナでは、ブルーインパルス飛行後、海上自衛隊佐世保音楽隊(隊長 長岡英幸1等海尉)による音楽演奏会が行われ、約1千8百名の観客へ感動と興奮を与える演奏を披露した。演奏では島原地域にあわせ「島原の子守歌」を演奏するとともに、終盤には、島原高等学校管弦楽部との合同演奏も行われ、中学生や高校生に夢と希望を与える演奏を奏でた。この音楽演奏には音楽ファンも多数訪れ、憧れの演奏者の演奏を目の当たりにして感動のあまり涙を流す姿も見られた。また、同会場において陸上自衛隊第16普通科連隊(連隊長 土肥崇紀1等陸佐)による軽装甲機動車、高機動車、オートバイの車両広報展示も実施され、幼児から大人まで年齢問わず多くの来場者が押しかけ、普段見ることのない車両を手で触ったり乗車したりと感動と喜びを与えるとともに、多くの方々が記念撮影を行っていた。

更に島原新港では、海上自衛隊多用途支援艦「あまくさ」による艦艇広報が実施され、数年ぶりの入港とあって、一般公開が始まる前から長蛇の列となり、いまかいまかと待ちわびている方々でいっぱいになった。乗艦した方からは、「ブルーインパルスとコラボした艦艇が素敵」などの声が聞かれた。また、ブルーインパルスが艦艇の上空を飛行すると大きな歓声があり、一般公開終了まで来場者1千6百34名を魅了した。



艦艇の上空を飛行するブルーインパルス

島原新港にて多用途支援艦「あまくさ」一般公開



発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL. 095-826-8844



長崎地本公式 HP



長崎地本公式 X



長崎地本公式 Instagram

国家を守る、
公務員。
自衛官募集中





自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、令和6年8月26日(月)、西部方面総監部が実施する令和6年度全国統一夏季採用広報キャンペーンの1つである「健軍ジョブリンピック」へ募集対象者12名を引率し、参加した。

本イベントは、募集対象者に対して、陸上自衛隊の多種多様な仕事を理解してもらい、将来の職業選択肢の1つにしてみようという事及び入隊意欲を高めてもらうことを目的として実施された。

まず初めに、高遊原分屯地において、航空機体験搭乗、多岐にわたる航空機展示及び操縦士等航空科職種の隊員との懇談を実施し、次に健軍駐屯地において、西部方面音楽隊の演奏を聴きながらの体験喫食、西部方面総監からの激励、会計隊の執務室等の見学及び各駐屯地から参集した多種多様な装備品展示を見学した。

充実した内容の1日となり、参加者からは「色々な職種があり興味が湧いた。」「数多くの職種があることがわかり、陸上自衛隊の印象が変わった。」「などの感想があり、好評であった。

自衛隊長崎地方協力本部は、長崎県内の多くの若者に自衛隊に対する理解を深め、自衛官志願の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていきます。

(募集課広報室)

自衛隊長崎地方協力本部に パリオリンピック近代五種銀メダリストが来訪

PARIS 2024



■佐藤大等2等海曹よりオリンピック成果報告



■佐々木昌貴本部長と佐藤大等2等海曹との記念撮影



自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、令和6年10月21日(月)自衛隊体育学校所属でパリオリンピック銀メダリストの佐藤大等(さとうたいしゅう)2等海曹の来訪を受けた。今回の来訪は、隊員の士気高揚を目的とした全国の基地等の巡回訪問の一環である。

佐藤2等海曹は、中学校・高校在学中は水泳部で活動し、海上自衛隊入隊後に教官からのスカウトを受け近代五種競技を始めたとのこと。その後は、全日本選手権、ワールドカップに出場し、令和6年8月8日(木)〜11日(日)に実施されたパリオリンピックにおいて近代五種競技日本勢初のメダルとなる銀メダルを獲得した。

来訪時は、本部長表敬、部員との懇談及び各課への挨拶を執り行い、本部長表敬では和やかな雰囲気のもと本部長、副本部長との懇談を実施、双方から記念品を贈呈した。部員との懇談では、佐藤2等海曹からオリンピックでの熱い応援に対する感謝の言葉とともに、東京オリンピック選考会落選を乗り越え、パリオリンピックのメダル獲得を目標に、あきらめず努力した結果、銀メダルを獲得することができたことのお話があった。このお話を聞き、部員も自身の任務達成に努力していこうと気持ち新たにすることができた。その後には銀メダルを触ったり、首からかけて記念撮影をしたりと各部員が銀メダリストと触れあう貴重な時間を経験した。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も厳しい環境の中、目標達成を最後まであきらめず努力を積み重ねることに、より、募集、援護及び予備自衛官の目標達成に邁進していきます。(総務課)



「させぼシーサイドフェスティバル2024」に広報ブース出展!

佐世保出張所(所長 駿河健太郎 1等海尉)は令和6年9月7日(土)、8日(日)に佐世保市総合グラウンドで行われた、させぼシーサイドフェスティバル実行委員会が主催する「させぼシーサイドフェスティバル2024」に参加した。

佐世保出張所は、募集広報ブースを出展し、カプセルトイやVR、南極の氷展示、ミニ制服の試着などを行い、小さいお子さんからお年寄りまで幅広い方に楽しんでもらえた。

また、募集対象者、特に中高校生には広報官が積極的に声をかけ、自衛隊の説明やイベント案内等を行い、自衛隊に対する興味を持つきっかけとなることのできた。中には積極的に質問などをしてくれる学生や、イベントにも参加をしたとアンケートに回答してくれる学生もおり、自衛隊が彼らの将来の選択肢のひとつになることを期待したい。

させぼシーサイドフェスティバル2024による自衛隊募集広報ブースへの来場者は約200名と大盛況に終わった。

佐世保出張所は、今後もあらゆる機会を通じて自衛隊の魅力を発信し、一人でも多くの方々に自衛隊を理解して頂けるよう尽力していきます。(佐世保出張所)

高校3年生を含む秋の採用試験開始



■防衛医科大学校医学科学生 (北九州予備校)



■防衛医科大学校看護学科学生 (北九州予備校)

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴 1等海佐)は、令和6年9月14日(土)令和6年度第2回一般曹候補生採用試験を皮切りに、第3回自衛官候補生、航空学生、防衛医科大学校看護学科学科学生、防衛医科大学校学生、予備自衛官補の採用試験を実施した。

この9月の採用試験から高校3年生も受験が可能となり、年内で最も受験者が多く、かつ自衛隊長崎地方協力本部として部員一丸となり力の結集が必要な一大事業である。

今年度から一般曹候補生、自衛官候補生の学科試験は全てWEB試験で実施した。一般曹候補生、自衛官候補生採用試験の受験者の多くは2種目を受験しており、受験後は、「全力でやりぬいた達成感」と「やっと終わったという安堵感」に溢れていた。

今後、12月に第3回一般曹候補生及び第4回自衛官候補生の採用試験を実施し、自衛官候補生については、更に1月、2月にも採用試験を実施予定である。

引き続き、多くの募集対象者情報の提供と自衛官を志す志願者を自衛隊長崎地方協力本部一同お待ちしています。(募集課募集班)

長崎県立大学にて 職業講話(サイバー防衛)



自衛隊長崎地方協力本部琴海地域事務所(所長 赤波江真治 准陸尉)は、10月21日(月)長崎県立大学シーボルト校情報システム学部情報セキュリティ学科の3年生78名(西彼杵郡長与町)に対して、職業講話(サイバー講話)を実施した。

この講話は、国防という観点での情報セキュリティの重要性を理解していただき、サイバー防衛で貢献できる優秀な人材の確保を目的としたものである。

今回の講話を担当した自衛隊サイバー防衛隊は長崎県立大学が産学連携の研究機関として設置した情報セキュリティ産業協同研究センターを共同で運営する「NFラボラトリーズ」の研修を通して同大学とも交流があり、現役自衛官も同大学院へ修士学生として出向する等、自衛隊とも非常に深い関係の深い大学である。



講話終了後は、多数の質問がなされる等、自衛隊の活動に興味を示す学生達で大いに賑わった。

翌日は広報教育を主に、自衛隊長崎地方協力本部員37名に対してサイバー防衛の教育の時間を設け、参加した部員一同はその重要性を再認識する機会となった。また、新たな知識で今後の募集活動の一助となる非常に実のある教育となった。ご支援いただいた自衛隊サイバー防衛隊には改めて感謝申し上げます。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後もこのような専門性の高い講話を実施して、聴講した学生の中から一人でも多くのサイバー防衛に携わる入隊者が誕生することを願ひ、募集広報活動に努めてまいります。(自衛隊長崎地方協力本部 琴海地域事務所)

頑張れ! 予備自衛官補から 予備自衛官へ



予備自衛官任用に伴う 辞令書を交付

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、10月9日(水)、松浦市において予備自衛官補(一般)教育訓練を修了した中野予備2等陸士に対し、予備自衛官任用に伴う辞令書を交付した。

辞令書を受け取った中野予備2等陸士は、令和4年7月に予備自衛官補として採用後、仕事と両立しながら50日間に亘る教育訓練を精力的にこなし、この度晴れて予備自衛官として任用された。

仕事はご家族と共に漁業に勤しまれ、一級船舶免許の資格を生かしご自身で船を操縦、タイやマグロを生簀にて養殖されているとのことである。

中野予備2等陸士は「予備自衛官補の教育訓練で一番辛かった訓練は戦闘訓練でしたが、同じ予備自衛官補の仲間と協力し合い、そして励まし合いながらやれたので、厳しくも楽しい訓練でした。また、助教の方も懇切丁寧に指導してくださり感謝しています。これからは何かあります。これからは何かあります。」と力強く抱負を述べた。

自衛隊長崎地方協力本部は、予備自衛官補から予備自衛官への任用率が全国的に低い傾向にある現状を踏まえ、今後予備自衛官補に対するきめ細やかなサポートを継続し、予備自衛官の勢力確保に努めていく所存です。

(援護課 予備自室)



長崎県任期制隊員 合同企業説明会

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、9月5日(木)パークベルズ大村(大村市)において、一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部との共催により、令和6年度長崎県任期制隊員合同企業説明会を開催した。

本説明会は、長崎県内での再就職を希望する任期満了退職予定隊員を対象とし、隊員と県内企業との面談により直接企業情報等を入手させ、円滑な再就職に結びつけることを目的とするものである。自衛隊長崎地方協力本部が行う任期制退職自衛官に対する再就職支援施策の最大のイベントであり、今回は23回目の開催となり、50社の企業と陸上自衛隊海上自衛隊の任期満了退職予定隊員14名が参加した。

今年の特徴として、説明会を実施する前に、OB講話(株式会社にしけい 壇氏(陸上自衛隊OB))を取り入れ、任期制隊員に対して、OBからの目線で再就職のあり方、厳しさ及び心構え等を話していただいた。

参加隊員と企業の面談は、1回25分間で4回、自由面談を2回(時間制)実施し、隊員は希望する企業ブースを訪れ、職務内容、就業時間、賃金、福利厚生等の求人内容について説明を受けつつ疑問点を質問し、自衛官らしく節度ある態度で真剣に面談に臨んでいた。また自由面談を活用し、時間内に最高10社説明を受けた隊員もおり再就職に対する意識の高さやうかがえた。参加隊員も「たくさんの企業から説明を聞けて良かった。」「希望する企業に話ができてよかった。」等、再就職に関して前向きな意見も聞くことができた。

自衛隊長崎地方協力本部は、引き続き任期制隊員に対する援護業務の魅力化、援護希望率の向上及び離職防止施策を含めた就職指導、職業訓練等の充実を図り、隊員が後顧の憂いなく職務に邁進できるように就職援護希望者の希望と雇用情勢に応じた就職の援助に努めていきます。

(援護課)

インターネットからも応募できます

自衛官募集 検索

募集フリーダイヤル
コールセンター

0120-063792

年中無休 受付時間
12:00~20:00

人事異動

- 佐世保教育隊より 佐世保出張所へ
2等海曹 嶋野 優詩
- 令和6年10月15日付
- 令和6年8月30日付
- 対馬駐在事務所長より 予備自衛官室兼援護総括班へ
陸曹長 木村 裕二
- 対馬駐在事務所長へ
陸曹長 小野 新一郎
- 令和6年10月1日付
- 相浦駐屯地援護センター長より 本部付へ
2等陸尉 多比良 輝彦
- 相浦駐屯地援護センター長へ
2等陸尉 松崎 豊和
- 令和6年8月31日付
- 自衛隊長崎地方協力本部 琴海地域事務所
1等陸曹 池崎 順一
- 令和6年9月30日付
- 自衛隊長崎地方協力本部 諫早地域事務所
防衛事務官 神田 博行